

IBM Engineering Lifecycle Management Extended SaaS

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。該当する注文関連文書には、お客様の発注に関する価格の詳細情報および追加の詳細情報が記載されています。

1. クラウド・サービス

この IBM Engineering Lifecycle Management Extended SaaS オファリングでは、マネージド・サービス、継続的保守、本「クラウド・サービス」のパッチの適用と更新、アプリケーション・ライフサイクル管理、ならびにソフトウェアおよびシステムのエンジニアリング・ソリューションが提供されます。

第 1.1.1 項から第 1.1.9 項に記載されたお客様の累積使用許諾により、プロビジョニングされる環境の構成が決まります。「プロフェッショナル層」は、最大 100 人の「許可ユーザー」または最大 40 人の「同時ユーザー」の使用許諾を購入したお客様に適しています。「エンタープライズ層」は、100 人を超える「許可ユーザー」または 40 人を超える「同時ユーザー」の使用許諾を購入したお客様に適しています。層の分類を決定する場合、IBM Engineering Workflow Management Contributor SaaS の 3 人の「許可ユーザー」または「同時ユーザー」の使用許諾は 1 人のユーザーとしてカウントされます。

各層では、以下のフィーチャーを提供します。

「プロフェッショナル層」では以下が提供されます。

- 無償で、最大 100 ギガバイトのデータ・ストレージ
- お客様のユーザーを管理するための専用 LDAP

「エンタープライズ層」では以下が提供されます。

- 仮想プライベート・クラウド環境への展開
- 定常状態の運用におけるネットワーク接続の確保を目的とする、サイト間 IPsec VPN トンネルを利用した初期プロビジョニング時のオプションのセットアップ
- 無償での最大 200 ギガバイトのデータ・ストレージ
- お客様のユーザーを管理するための専用 LDAP。オプションとして、既存のローカライズされた LDAP サーバー・アカウントを「クラウド・サービス」のユーザー・ログインにマップすることができます。
- 毎年少なくとも 1 か月間の「ユーザー受け入れテスト」(UAT) インスタンスをサブスクライブする必要性が生じます。

IBM Rational Quality Assistant は別個の「クラウド・サービス」であり、上記のフィーチャーは該当しません。

1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

1.1.1 IBM Engineering Test Management SaaS

この「クラウド・サービス」は動的なテスト計画、適用されるワークフロー、ラボ効率、テスト範囲分析、手動テスト・オーサリングを提供します。これらのフィーチャーは、その他のライフサイクル作成物(ワークアイテムおよび要件など)と、ならびにレポート作成機能およびダッシュボードと統合します。それらは詳細で、高度にカスタマイズされた分析を提供して、プロジェクトの正常性と進捗を監視できるようにします。カスタマイズ可能なレポートは、要件、ワークアイテム、ビルド、テスト・ケース、およびテスト結果を含む、ライフサイクル全体にわたる作成物のリアルタイム・ビューと過去のトレンドの両方を提供します。チームのレポートおよびダッシュボードは、お客様がプロジェクトの健全性に関するタブを維持できるようにします。ダッシュボードはワークアイテムの照会、イベント・フィード、レポート、および進捗を理解するのに欠かせないその他の項目について概要ビューを提供します。

1.1.2 IBM Engineering Workflow Management SaaS

この「クラウド・サービス」は、以下に記載された変更管理、計画、ソフトウェア構成管理、および自動化機能を提供します。

a. 変更管理

「変更管理」の主なフィーチャーはカスタマイズ可能なワークアイテムであり、エピック、フィーチャー、ストーリー、タスク、および通常の障害を追跡したり、調整したりします。ワークアイテムおよびワークフロー・プロセスは、プロセスをサポートすることを目的としたお客様の特定のニーズに合うようにカスタマイズ可能です。このプロセスを基本アーキテクチャーから分離することで、将来のニーズの変更または新規方法論の出現に伴って、新しいワークフローとプロセスを追加し、複数のチームで共有することができます。

b. 計画

「計画」機能は、複数のプロジェクト全体に対して、これらのプロジェクト内のチームに対して、および個々の開発者に対して、計画、見積もり、ランキングおよびベロシティ管理を支援するツールを提供します。「計画」はチームの誰もが利用可能です。また、あらゆる時点でのリリースおよび反復の進捗を示します。この「計画」機能には、作業の流れについて優先順位を付けて最適化したり、デリバリー・サイクル時間を早めることを目的にブロックされたタスクに素早く対処したりするための視覚的なタスク・ボードとカンバンボードが含まれます。

c. ソフトウェア構成管理

コンポーネント・ベースのソース制御システムは、並行開発、アジャイル開発、および地理的に分散されたチームに対して強力なサポートを提供します。これは障害追跡、ビルド、およびプロセス自動化と密に統合します。

d. ビルド自動化

「ビルド自動化」機能は、開発チームとテスト・チームにビルド管理制御を提供します。チーム・メンバーはビルドの進捗を追跡し、ビルド・アラートと結果を表示し、ビルドを要求し、ビルドの関係(変更セットやワークアイテムなど)を作成物にトレースします。

e. レポート作成

「レポート作成」機能は使いやすいセルフサービス式のレポート作成インターフェースを提供し、視覚的なダッシュボードと統合して、複数のチームやプログラムにわたって Web ブラウザーからプロジェクトの状況と作業労力の視覚的な追跡を可能にします。プロジェクト間および機能間のレポートは、トレンド・データと履歴データの分析をサポートします。ダッシュボードは、組織全体に重要なライブ・プロジェクトのデータと状況を伝えるようにします。

1.1.3 IBM Engineering Workflow Management Contributor SaaS

本「クラウド・サービス」では、IBM Engineering Workflow Management SaaS の機能のサブセットを提供します。この「クラウド・サービス」には上記の変更管理、計画およびレポート作成の機能が含まれますが、「ソフトウェア構成管理」および「自動化」は含まれません。

1.1.4 IBM Engineering Requirements Management DOORS Next SaaS

この「クラウド・サービス」では、特に関連する開発ワークアイテムおよびテスト作成物に関連した、要件を取り込み、整理し、協力してレビュー、分析、およびレポート作成を実行する、軽量要件から完全な規制対象システム・エンジニアリング・ツールに至るまで、さまざまな要件プラクティスに対してサポートを提供します。

1.1.5 IBM Engineering Lifecycle Optimization Engineering Insights SaaS

この「クラウド・サービス」は、ライフサイクルにわたるエンジニアリング作成物間の関係を視覚化する機能を提供してプロジェクトの効率と製品の完全性の向上促進に関する洞察を引き出します。本「クラウド・サービス」オフリングは、IBM Engineering Lifecycle Management Extended SaaS バンドル内でのみ、または「エンタープライズ」層の IBM Engineering Lifecycle Management Base SaaS オフリングと併せた場合のみ購入できます。

1.1.6 IBM Engineering Systems Design Rhapsody Model Manager

本「クラウド・サービス」は、IBM Engineering Systems Design Rhapsody やその他のツールと統合された Web ベースのアプリケーションで、モデルのライフサイクル・トレーサビリティを提供し、Web 上でモデル提供によって利害関係者がモデルを容易に入手できるようにし、ソース制御/構成管理を提供します。このアーキテクチャー・マネジメント (AM) のアプリケーションにより、開発ライフサイクルにおいてモデルを最上位の要素として位置付けることができます。

本「クラウド・サービス」オファリングは、IBM Engineering Lifecycle Management Extended SaaS バンドル内または「エンタープライズ」層でのみ購入できます。本「クラウド・サービス」では以下を提供します。

- IBM Engineering Workflow Management SCM (ソース制御および構成管理) に基づいて構築される構成管理
- アーキテクチャーの各要素 (IBM Systems Design Rhapsody のモデル要素) 間の OSLC リンク、および以下のタイプのリモート作成物
 - IBM Engineering Requirements Management DOORS Next の要件
 - IBM Engineering Test Management のテスト作成物
 - IBM Engineering Workflow Management のワークアイテム
- OSLC トレーサビリティの作成およびナビゲーションのための Web ビュー
- Global Configuration Management アプリケーションのコントリビューターとしての OSLC グローバル構成への参加
- IBM Engineering Systems Design Rhapsody – Model を既存のプロジェクトで使用可能にするためのシンプルなメソッド

1.1.7 IBM Engineering Lifecycle Management Base SaaS

本「クラウド・サービス」には、IBM Engineering Requirements Management DOORS Next SaaS、IBM Engineering Test Management SaaS、および IBM Engineering Workflow Management SaaS のための上記の機能が含まれています。さらに、以下を提供します。

- a. 要件、ワークアイテム、ビルド、テスト・ケース、およびテスト結果を含む、ライフサイクル全体にわたる作成物のリアルタイム・ビューと過去のトレンドを備えた、カスタマイズ可能なレポート。
- b. お客様によるプロジェクトの監視に役立つチーム・レポートとダッシュボード (ワークアイテムの照会、イベント・フィード、レポート、および進捗を理解するのに欠かせないその他の項目について概要ビューを提供)。
- c. 本「クラウド・サービス」が「エンタープライズ」層でサブスクライブされた場合、サービスには以下のオプションが含まれます。
- d. 開発での再利用可能な製品、システム、サブシステム、およびコンポーネントに従った、ライフサイクル・エンジニアリングの作成物の編成による戦略的な再利用。
- e. ライフサイクル全体での IBM Engineering Requirements Management DOORS Next SaaS、IBM Engineering Test Management SaaS、および Global Configuration Management の「構成管理」。

1.1.8 IBM Engineering Lifecycle Management Extended SaaS

本「クラウド・サービス」は「エンタープライズ」層でのみ使用可能なもので、IBM Engineering Requirements Management DOORS Next SaaS、IBM Engineering Test Management SaaS、IBM Engineering Workflow Management SaaS、IBM Engineering Lifecycle Optimization – Engineering Insights SaaS、IBM Engineering Systems Design Rhapsody – Model Manager のための上記の機能が含まれます。本サービスを購入するお客様は、プロビジョニングの前に、IBM Engineering Systems Design Rhapsody – Model Manager を IBM Engineering Systems Design Rhapsody – Design Manager と置き換えることをオプションで要求することができます。さらに、ライフサイクル全体からのエンジニアリング情報へのユニバーサル・アクセスを提供し、また、主なエンジニアリング・コンピテンシーを可能にします。

- a. データの保管先や管理先を問わない、関連性のある情報の検索と発見。
- b. エンジニアリング・ライフサイクル全体にわたる完全な可視性を持ったエンジニアリング変更に対する理解と変更。
- c. 洞察を予測可能な成果に変えるのに役立つ、視覚化機能および分析機能。
- d. モデルや設計を作成、編集、および共有し、設計の作成物をその他のライフサイクル・リソースと統合するためのツール。
- e. モデルおよび設計に関して協力して行うレビュー、分析、ならびにレポート。

1.1.9 IBM Engineering Lifecycle Optimization Publishing Engine Document Builder SaaS

本「クラウド・サービス」は、組織のシステムおよびソフトウェア・エンジニアリング・データを対象としてドキュメント・スタイルのレポートの生成を自動化し、以下を目的とする文書へのアクセスを許可します。

- a. 臨時使用
- b. チームまたは個人によるオフライン・レビュー
- c. 正式レビュー
- d. 契約上の義務
- e. 規制監督

本「クラウド・サービス」により、ユーザーは使用している Web インターフェース経由で、Microsoft Word、Microsoft Excel、PDF、および HTML の出力形式のドキュメントを生成できます。パブリッシング・テンプレートの開発が必要なお客様は、PUB テンプレートを開発するための IBM Engineering Lifecycle Optimization – Publishing オンプレミス・プログラムのライセンスを別途取得するか、IBM または第三者とともに必要なパブリッシング・テンプレートを開発する必要があります。

本「クラウド・サービス」オファリングは、前提条件としての IBM Engineering Lifecycle Management Base SaaS VPC オプション・サービスとともに、「エンタープライズ」層、「プロフェッショナル」層でのみ購入できます。

1.1.10 IBM Engineering Requirements Quality Assistant for DOORS Next

本「クラウド・サービス」は、要件管理ツールである IBM Engineering Requirements Management DOORS Next SaaS またはオンプレミスと連携するソリューションを提供します。要件作成者は、Watson の専門知識にアクセスして、定義を行う際に要件の品質を改善することができます。事前にトレーニングされた AI を設計段階からビルトインしている IBM Engineering Requirements Quality Assistant for DOORS Next は、すぐに使える 11 の品質指標を提供します。IBM Engineering Requirements Quality Assistant for DOORS Next を使用すれば、企業は、要件レビューのプロセスを加速し、全体的な製品品質を向上させ、後進の要件エンジニアのトレーニング・コストを削減することができます。本「クラウド・サービス」は、「許可ユーザー」または「同時ユーザー」単位で取得することができます。「許可ユーザー」の各使用許諾には 1 か月あたり 10,000 の「アイテム」が含まれ、「同時ユーザー」の各使用許諾には 1 か月あたり 25,000 の「アイテム」が含まれています。「アイテム」は集約されており、ユーザー間で共有できません。

1.1.11 IBM Engineering Requirements Quality Assistant for DOORS

本「クラウド・サービス」は、IBM Engineering Requirements Management DOORS オンプレミス要件管理ツールと連携するソリューションを提供します。要件作成者は、Watson の専門知識にアクセスして、定義を行う際に要件の品質を改善することができます。事前にトレーニングされた AI を設計段階からビルトインしている IBM Engineering Requirements Quality Assistant for DOORS は、すぐに使える 11 の品質指標を提供します。IBM Engineering Requirements Quality Assistant for DOORS を使用すれば、企業は、要件レビューのプロセスを加速し、全体的な製品品質を向上させ、後進の要件エンジニアのトレーニング・コストを削減することができます。本「クラウド・サービス」は、「許可ユーザー」または「同時ユーザー」単位で取得することができます。「許可ユーザー」の各使用許諾には 1 か月あたり 10,000 の「アイテム」が含まれ、「同時ユーザー」の各使用許諾には 1 か月あたり 25,000 の「アイテム」が含まれています。「アイテム」は集約されており、ユーザー間で共有できます。

1.1.12 IBM Engineering Requirements Management DOORS Next with Quality Assistant

本「クラウド・サービス」には、IBM Engineering Requirements Management DOORS Next SaaS および IBM Engineering Requirements Quality Assistant for DOORS Next 用の上記機能が含まれています。どちらにも独自のユーザー認証機能がありますが、包括的ソリューションを実現するためにこれらの「クラウド・サービス」を統合する機能を備えています。本「クラウド・サービス」は、「許可ユーザー」または「同時ユーザー」単位で取得することができます。「許可ユーザー」または「同時ユーザー」をカウントする際、IBM Engineering Requirements Management DOORS Next SaaS のユーザーの数によって「許可ユーザー」または「同時ユーザー」の最大数が決まります。「許可ユーザー」の各使用許諾には1か月あたり10,000の「アイテム」が含まれ、「同時ユーザー」の各使用許諾には1か月あたり25,000の「アイテム」が含まれています。「アイテム」は集約されており、ユーザー間で共有できます。「アイテム」をカウントする際は、IBM Engineering Requirements Quality Assistant for DOORS Next によって「アイテム」の最大数が決まります。

1.2 オプション・サービス

1.2.1 IBM Engineering Requirements Quality Assistant Items

本「クラウド・サービス」は従量課金制で提供され、お客様の基本的な Engineering Requirements Quality Assistant 使用許諾に含まれる容量を超えて「クラウド・サービス」が利用された場合に、お客様に請求する際に使用されます。お客様は代わりに、追加の「アイテム」に対するサブスクリプションを必要に応じて取得することができます。「アイテム」の使用許諾は、以下のオフリングごとに1,000個を1パック単位として取得できます。

- a. IBM Engineering Requirements Quality Assistant for DOORS Next
- b. IBM Engineering Requirements Quality Assistant for DOORS
- c. IBM Engineering Requirements Management DOORS Next with Quality Assistant

1.2.2 100 GB のデータ・ストレージ

下記の「クラウド・サービス」は、指定されたとおりに、サブスクリプションまたは従量課金サービスとして利用でき、100ギガバイト (GB) 単位の増分で追加のストレージ容量をお客様に提供します。お客様の超過量が利用可能なストレージの10%以内の場合、追加の100ギガバイト (GB) が環境に追加されます。サブスクリプションの超過料金または従量課金制の料金のいずれかが、見積もりで規定されたとおりに適用されます。

サブスクリプションの追加ストレージ・オフリング:

- a. IBM Engineering Lifecycle Management Extended SaaS Data Storage
- b. IBM Engineering Lifecycle Management Base SaaS Data Storage

従量課金の追加ストレージ・オフリング:

- a. IBM Engineering Requirements Management DOORS Next SaaS 100 GB Pay Per Use
- b. IBM Engineering Test Management SaaS 100 GB Pay Per Use
- c. IBM Engineering Workflow Management SaaS 100 GB Pay Per Use
- d. IBM Engineering Workflow Management Contributor SaaS Pay 100 GB Per Use
- e. IBM Engineering Systems Design Rhapsody Model Manager 100 GB Pay Per Use
- f. IBM Engineering Lifecycle Optimization Engineering Insights SaaS 100 GB Pay Per Use
- g. IBM Engineering Lifecycle Management Extended SaaS 100 GB Pay Per Use
- h. IBM Engineering Lifecycle Management Base SaaS 100 GB Pay Per Use

1.2.3 IBM Engineering Lifecycle Management Base SaaS VPC

この「クラウド・サービス」により、IBM は CLM on Cloud の「プロフェッショナル」層デプロイメントを仮想プライベート・クラウド環境に構築して構成し、お客様の専用のリソースを分離して割り当てます。これは、記載されている場合には、その他の「クラウド・サービス」の前提条件となります。

1.2.4 IBM Engineering Lifecycle Management Base SaaS Configuration Management

本「クラウド・サービス」は、「プロフェッショナル」層のデプロイメント時に Engineering Lifecycle Management (ELM) で構成管理機能を有効化します。このサービスにより、構成管理機能を IBM Engineering Requirements Management DOORS Next SaaS、IBM Engineering Test Management SaaS プロジェクト向けに、または、IBM Engineering Lifecycle Management Base SaaS の Global Configuration Management 機能向けに有効化できます。関連機能 (Lifecycle Query Engine など) も有効化されます。IBM Engineering Lifecycle Management Base Virtual Private Cloud (VPC) は、この「クラウド・サービス」の前提条件です。

1.2.5 IBM Engineering Lifecycle Management Base SaaS Test

この「クラウド・サービス」は、ELM 実稼働環境と同じ VPC において実稼働環境データのクローン・コピーを提供します。実稼働環境で URL の重複が生じないようにするため、環境においてサーバー名の変更が行われます。実稼働環境と同じ環境へのアクセスとユーザー認証が提供されます。最大 25 人の同時ユーザーをサポートするために、アプリケーションの実行には最小セットのコンピューティング・リソースが必要ですが、テスト環境は ELM 実稼働環境と同じ構成およびサーバー・トポロジーで作成されます。当該環境は、テスト環境の更新を要求する変更管理プロセスで管理されます。毎月 1 回の大規模な変更 (アップグレード、重要なパッチ、ifix) が含まれます。リソース・モニタリングは含まれていません。そのため、サービス・レベル目標は適用も提供もされません。バックアップ・サービスが提供されます。この非実稼働インスタンスでは「重要度 1」のサポート・チケットは提供されません。

1.2.6 IBM Engineering Lifecycle Management Base SaaS Sandbox

本「クラウド・サービス」は、ELM 実稼働環境と同じ VPC においてサンドボックス環境を、同じコンポーネント、当該環境へのアクセス、およびユーザー認証と共に提供します。ただし、実稼働環境データのクローン・コピーは含まれません。お客様には、この環境に変更または更新を加えるのに必要なアクセス許可が提供されます。これには、拡張およびカスタマイズ、ならびにアプリケーションを再起動する機能 (要求された場合) が含まれます。この環境は、最大 10 人の同時ユーザーに対してアプリケーションを実行するための、サーバーおよびコンピューティング・リソースの最少セットで作成されます。リソース・モニタリングは含まれていません。そのため、サービス・レベル目標は適用も提供もされません。バックアップ・サービスが提供されます。この非実稼働インスタンスでは「重要度 1」または「重要度 2」のサポート・チケットは提供されません。

1.2.7 IBM Engineering Lifecycle Management Base SaaS User Acceptance Test

この「クラウド・サービス」は、1 次「クラウド・サービス」アプリケーション・サーバーの実稼働環境データのクローン・コピーを提供します。この環境は実稼働とは異なる VPC において作成されます。最大 25 人の同時ユーザーをサポートするために、アプリケーションの実行には最小セットのコンピューティング・リソースが必要ですが、クローン環境のサーバー・トポロジーは実稼働環境と同一です。このサービスには毎月 1 回のアップグレード/大規模な変更が含まれ、お客様がユーザー受け入れテスト (UAT) を実行できるようにします。このオフリングは、最短 1 か月の月単位でテスト用に実行されます。当該環境にはサイト間 VPN は含まれませんが、追加費用により入手することができます。サイト間 VPN が追加される場合、UAT 環境が実稼働と同じ URL を持つようになるため、ユーザーは UAT 環境へのアクセスを確実にするために、/etc/hosts ファイルを修正する必要があります。ドメインの変更は行われません。サーバーの名前変更は不要であり、またサポートされません。UAT 環境へのユーザー・アクセスは、クラウド・ベースの LDAP に対する SSL VPN 接続により行われます。バックアップ・サービスが提供されます。リソース・モニタリングは提供されません。そのため、サービス・レベル目標は適用も提供もされません。この非実稼働インスタンスでは「重要度 1」または「重要度 2」のサポート・チケットは提供されません。

1.3 アクセラレーション・サービス

以下のリモート・サービスはプロビジョニング後に発生し、SaaS 環境プロビジョニングから 90 日以内に完了させる必要があります。また、お客様のエンゲージメント、お客様のリソース・アベイラビリティおよびお客様指定の活動に依存します。

1.3.1 IBM Engineering Lifecycle Management Base SaaS Data Import

このプロビジョニング後のセットアップ・サービスにより、IBM は ELM on Cloud Base 環境のデプロイメント後にデータ・インポートを実行します。このインポートは、CLM 5.0.2 以降のバージョンからのみサポートされます。それ以外の場合は、追加料金および追加サービスが必要です。インポートされるデータの総量は、データベースとストレージの双方に対して最大 300GB に制限されます。これを超えると追加の料金およびサービスが必要になります。インポート先の環境のドメイン・ネームがデータ・ソースのものとは異なる場合、データ・ドメイン・ネーム変更手順も実行されます。

1.3.2 IBM Engineering Lifecycle Management Base SaaS VPN

このプロビジョニング後のセットアップ・サービスにより、IBM は ELM on Cloud Base の「プロフェッショナル」層に対してサイト間の「仮想プライベート・ネットワーク」を追加し、管理し、運用します。この VPN は、ユーザーがそれぞれのファイアウォール内でロケーション・アプリケーションに接続できる安全なゲートウェイ・コンポーネントを提供します。お客様のクラウド・ホスト型インスタンスは、公衆インターネットからは見えません。ゲートウェイ・コンポーネントは、ローカル・システムと「クラウド・サービス」環境間に暗号化接続を提供して、ローカル・アプリケーションと「クラウド・サービス」間でのより安全なデータ送信を可能にします。IBM Engineering Lifecycle Management Base SaaS Virtual Private Cloud (VPC) は、この「クラウド・サービス」の前提条件です。

1.3.3 IBM Engineering Lifecycle Management Base SaaS AD/LDAP

このプロビジョニング後のセットアップ・サービスは、「プロフェッショナル」層のデプロイメントの ELM から、お客様のエンタープライズの「アクティブ・ディレクトリー」または LDAP サービスへの接続を確立します。この統合により、お客様のエンタープライズの LDAP ディレクトリー・サービスに照らしてユーザー認証を実行できます。IBM Engineering Lifecycle Management Base SaaS Virtual Private Cloud (VPC) は、この「クラウド・サービス」の前提条件です。

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」)のほか、以下のリンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」)にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、対象となる処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。DPA は、i) EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR)、または ii) <http://ibm.com/dpa/dpl> に記載されているその他のデータ保護法が適用される場合に、その適用範囲に限り、「コンテンツ」に含まれる個人データに適用されます。

適用される「データ・シート」へのリンク:

| | |
|--|---|
| IBM Engineering Lifecycle Management Base SaaS | https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=8213AF30978911E5822FB609046E1BB4 |
| IBM Engineering Lifecycle Management Extended SaaS | https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=672799C08E2911E5B5C4086A1F9700C5 |
| IBM Engineering Requirements Quality Assistant | https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=FC5D21D02D4711E880086ABC559AD03E |

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。)をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サー

ビスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック (https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html) に掲載されています。

| 可用性 | クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*) |
|----------|---------------------------------|
| 99.9% 未満 | 2% |
| 99.0% 未満 | 5% |
| 95.0% 未満 | 10% |

*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート (サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど) を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

4. 料金

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「個別契約書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「許可ユーザー」とは、直接または間接のいかなる方法においても (例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて) 「クラウド・サービス」へのアクセス権限を付与されている特定のユーザーを指します。
- 「同時ユーザー」は、いずれかの時点で、直接または間接のいかなる方法においても (例えば、多重化プログラム、デバイス、またはアプリケーション・サーバーを通じて)、「クラウド・サービス」に同時にアクセスするユーザーの数になります。複数回「クラウド・サービス」に同時アクセスしているユーザーは、1人の「同時ユーザー」としてカウントされます。

本「クラウド・サービス」において、使用量は、当月における毎時のタイム・スタンプ期間内のピーク同時使用に対して測定されるものとします。

- 「ギガバイト」(「GB」)とは、「クラウド・サービス」によって処理されるか、「クラウド・サービス」において使用、保管、または構成される 2 の 30 乗バイトのデータとして定義されません。
- 「コネクション」とは、「クラウド・サービス」に対して提供されたまたは提供されている、データベース、アプリケーション、サーバー、またはその他のタイプのデバイスのリンクまたは関連付けです。
- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。
- 「アイテム」とは、「クラウド・サービス」の利用により管理、処理される、または「クラウド・サービス」の利用に関連する特定のアイテムが 1 回発生することをいいます。

IBM Engineering Requirements Quality Assistant for DOORS および IBM Engineering Requirements Quality Assistant for DOORS Next の「クラウド・サービス」の場合、「アイテム」とは、「クラウド・サービス」によって分析される要件の作成物です。

4.2 リモート・サービス料金

リモート・サービスを使用したか否かにかかわらず、リモート・サービスは購入日から 90 日後に満了となります。

5. 追加条件

2019年1月1日より前に締結されるクラウド・サービス契約書(または同等のクラウド基本契約)については、<https://www.ibm.com/acs>に掲載されている条件を適用します。

5.1 管理に関するお客様の責任

お客様はアプリケーション管理(以下が含まれますが、それらに限定されません。)に対して責任を負います。

- a. 調整およびエンド・ユーザーへの伝達
- b. ユーザーおよびプロジェクトの管理
- c. 問題識別および解決に向けたコラボレーション
- d. 修正、要求された構成変更、または更新が提供された場合、ユーザー・テスト。
- e. 「ワークアイテム」、ワークフローおよびレポート構成
- f. IBM Engineering Lifecycle Management 環境と IBM Engineering Requirements Quality Assistant の統合を目的としたホワイトリスティング

5.2 アップグレードとパッチ

IBM Engineering Lifecycle Management Extended SaaS Cloud Service については、アップグレードおよびパッチは通常、各月の第3金曜日に、定期保守時間枠で実行されます。「プロフェッショナル層」のお客様については、「クラウド・サービス」はデータ・センターのタイム・ゾーンの午後6時に停止し、午後9時までに再稼働します。「クラウド・サービス」では、計画保守および計画停止について事前にお客様に通知します。「アップグレード」は通常、オンプレミス・オフリングの一般出荷可能バージョンの60日以内に発生します。

IBM Engineering Requirements Quality Assistant for DOORS および IBM Engineering Requirements Quality Assistant for DOORS Next の「クラウド・サービス」については、アップグレードおよびパッチは通常、各週木曜日に、定期保守時間枠で実行されます。保守時間枠内に「クラウド・サービス」を停止する必要がある場合、データ・センターのタイム・ゾーンの午後4時に停止し、午後6時までに再稼働します。

5.3 イネープリング・ソフトウェア

IBM Requirements Quality Assistant クラウド・サービスには以下の「イネープリング・ソフトウェア」が含まれます。

- a. IBM Requirements Quality Assistant for DOORS Next イネープリング・ソフトウェアは、お客様専用の URL により、お客様によって IBM DOORS Next Generation 製品に追加されるプラグインです。プラグインのフロント・エンド UI に、品質スコアおよびエンド・ユーザーに対するガイダンスが表示されます。
- b. IBM Requirements Quality Assistant for DOORS イネープリング・ソフトウェアは、DOORS クライアントにインストールされた、およびお客様専用の URL を介して「クラウド・サービス」に接続されたプラグインです。プラグインのフロント・エンド UI に、品質スコアおよびエンド・ユーザーに対するガイダンスが表示されます。本「クラウド・サービス」は DOORS 9.6.1.6+ と連携し、Windows 10 をサポートします。

5.4 オファリングの構成

お客様は、「クラウド・サービス」のコントロール・パネルの「Teach Watson」機能を無効化することで、第 1.1.9 項に概要が記載された目的でお客様の「コンテンツ」を使用しないように IBM に指示することができます。お客様が「Teach Watson」機能を無効化した場合、IBM は、「クラウド・サービス」の将来のプロビジョニングにおいてその指示に従い、当該送信に関連するお客様の「コンテンツ」を使用しないものとします。ただし、IBM Cloud の「サービス記述書」に従って別途許可される場合は除きます。

5.5 安全なゲートウェイに関する制限

オプションの安全なゲートウェイ・コンポーネントの利用は、お客様の自己責任で行います。お客様は、このコンポーネントの使用、またはその他アプリケーションと「クラウド・サービス」間の暗号化されていない通信、またはセキュリティーで保護されていない通信を使用するというお客様の選択に起因または関連する損害および第三者請求につき、IBM を免責することに同意するものとします。

5.6 フィードバック

お客様は、IBM が IBM Watson を拡張するよう提案できます (以下「フィードバック」といいます。)。お客様には「フィードバック」を提供する義務はなく、IBM はお客様が提供するすべての「フィードバック」を自由に使用できます。

6. オーバーライド条件

6.1 データの利用

IBM Engineering Requirements Quality Assistant 「クラウド・サービス」について両当事者間の「クラウド・サービス」基本条件の「コンテンツおよびデータ保護」項にいかなる矛盾する規定があっても、以下の条件が優先します。

IBM は、お客様の「クラウド・サービス」の利用によって生まれるお客様の「コンテンツ」に固有のものである結果(「洞察」)や、お客様を特定できる結果を利用したり開示したりしません。ただし、IBM は、「クラウド・サービス」の一環として、データが個人データに該当しない形式となるように匿名化したうえで、「コンテンツ」および「コンテンツ」に由来するその他の情報を使用します。IBM は、研究、テスト、およびオフリング開発の目的でのみ、このデータを使用します。本条項の規定は取引終了後または満了後も存続するものとします。